

連続して休暇を取得できる連続休暇制度を運用

取組の ポイント

- 365日営業を行う事業において、従業員が連続して休暇を取りづらいため、連続して休暇を取得できる連続休暇制度を設ける
- 連続休暇制度の取得率は100%



取組の目的・概要

- 同社は地域に根ざした旅客自動車運送業として、「人が移動したいというニーズに対して、安心して快適なサービスを提供することを通じて社会に貢献する」ことを経営理念に掲げてきた。経営理念を実践するためには、「お客さまの満足」、「働く人の満足」、「企業の満足」の3つの満足がバランスよく保たれることが必須であり、今後も社員とともに発展し続ける企業を目指していきたいと考えている。
- 業種の特性上、朝早くから夜遅くまで営業しているが、シフト勤務を活かして年次有給休暇の取得促進に取り組んでいる。
- 有給休暇のほかに連続休暇制度として、入社4年目以降の社員に対し、年に連続4日の休暇を付与している。
- 大切なお客さまの命を預かる業務のため、社員のオンとオフの切り替えはしっかりと行っている。

企業概要

[設立] 1974年

[事業内容] 一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）
一般貸切旅客自動車運送事業（貸切送迎バス）

[所在地] 千葉県千葉市

[従業員数] 160名（2017年3月現在）

[年次有給休暇の取得率] 約70%

[年間休日数] 72日

[URL] <http://heiwakotsu.com/>

取組内容と特徴

連続休暇制度の詳細

- ・対象は正社員で、入社後試用期間（原則3カ月間）を経て、社員登用となった日の年度より4年度を経過した翌4月1日より利用できる。
- ・対象期間毎に対象者は「連続休暇制度用」として3日の特別休暇（有給）および本人所持の年次有給休暇1日、もしくは公休（無給）1日を連続して取得することができる。但し、この連続休暇の申込は、最小単位を「週」とし、毎年初めに社員が連続休暇を取得したい週を申請する。その後、抽選を行い、極力連続5日になるよう所属する各部門長が申請者の連続休暇取得期間を決定する。
- ・基本1週における対象者を部門ごとに1名とする。
- ・同社の場合は、1週当たり2名（高速線バスで1名、路線バスで1名）で運用。この連続休暇制度の取得率は100%となっている。
- ・この制度はグループ全体の制度であるが、各社の業務状況等による当該制度の運用状況には差異が生じる場合がある。
- ・1週間続けて休み、身体の休養も兼ねて家族旅行や趣味などの普段出来ないことを行う休暇として、活用されている。
- ・同社では社員が毎年10名程度増えているので、シフト勤務体制や休暇取得方法を見直ししていく必要がある。

ワーク・ライフ・バランスの取組を推奨

- ・1週間のサイクルのなかで心身の負担を軽減出来るようなシフトに調整したり、希望の有給休暇が取得できるように調整するなど、シフト勤務を活かして連続した年次有給休暇の取得促進に取り組んでいる。具体的には、休日に疲れを持ち越さないように、休みの前日は日中早い時間で勤務が終了となるシフトを組み込んだり、月に1～2回は連休を取れるようなシフト組を行い、余暇を満喫できるよう配慮している。

- ・社内での休暇取得に対する理解が進んでおり、男性の育児休暇の取得も増えてきている。2016年度までのグループ内実績では、4名の取得者がいる。

取組に伴う効果・社員の变化等

- ・同社は他社に先駆けて昭和50年頃から女性運転手を採用している。女性運転手を採用するきっかけとしては、創業者がヨーロッパを訪れた際に、女性運転手が大型バスを運転している姿に感銘を受けたこと等があげられる。当初はお客さまから「女性の運転は怖い」といったご意見も頂いたが、時間が経つにつれて、女性ならではの温かい接客や明るい挨拶などが評価され、今ではお褒めの言葉も多数頂けるようになった。
- ・運輸業ではあるが、サービス業としての意識を持ち、お客さまをはじめ社員同士においても互いに温かい言葉を掛け合う風土づくりを進めている。こうした風土をもとに会社を盛り上げてきたことが、働きやすい職場づくりの原点であると考えている。
- ・社員の出入りが激しい業界ではあるが、同社の社員定着率は良い方であると考えている。日頃から心がけていることとしては、社員にこまめに声をかけ、職場環境のなかで「ここを変えてほしい」といった要望があれば、出来るだけ対応するようにしている。声をかける場所は、ミーティングをはじめ喫煙スペース等、ちょっとした時でも話せるように意識している。
- ・当社では会社で一定期間養成した後に大型二種免許を取得できる体制を整えている。こうした取り組みも進めることで、若者の雇用機会創出の一助になればと考えている。

- ・長期の休みを利用して、家族と旅行に行ってきました。普段まとまった休みが取りにくい業界ですので、家族とのコミュニケーションをとるいいきっかけになっています。
- ・仕事から完全に心身とも切り離せるのでリフレッシュでき、休み明けにはまた頑張ろうという気持ちになります。

制度利用者の声